

舞鶴市の産前・産後支援体制について

【現状・課題】

①周知・啓発

- ・健康への意識が低い
- ・情報過多で取捨選択が難しい
- ・必要なサービスに繋がっていない

②妊婦本人・家族

- ・精神疾患既往、不安が強い妊婦の増加
- ・こころの健康チェックで該当する人が増加
- ・対面のコミュニケーションが苦手
- ・自分自身にお金と時間を費やす事が出来ない
- ・家族の協力が得られない、夫の育児力、意識の低さ
- ・健康への意識が低い

③サービス

- ・サービス内容とニーズの差
- ・精神的フォロー体制の不足
- ・グリーフケアの支援体制の不足
- ・産後ケアの受け皿が少ない
- ・医療施設と助産院、地域とつながる仕組み

④マンパワー・運営費

- ・母乳外来の助産師不足で乳房ケアが受けられない
- ・母親学級・両親学級ができていない
- ・担い手が少ない
- ・運営費の不足

【目指す方向性】

全ての妊産婦とその家族が必要なサポートを選択し、
しあわせを感じながら安心して産み育てることができる舞鶴

そのために…



- ①妊娠期からの切れ目ない支援
- ②産後サポートの充実
- ③医療機関、地域との連携強化

【今後の取組（案）】

- 妊娠期からの寄り添い支援強化 妊娠期支援の充実・グリーフケアの取組
- 産前産後ケアのメニュー化（選択できる形へ）
- 産前産後サポート部会の継続（連携強化）